

## 事業名：幼稚園就園奨励費補助金

子育て支援室参事（子育て支援政策）

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	02 未就学期児童への支援								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	その他

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼稚園就園児の保護者

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則」に基づき、一定の対象要件に該当する園児の保護者に対し、保育料を減免した幼稚園に、市が減免相当額を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

就園するための保護者負担を軽減することにより、幼稚園就園を促す。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	幼稚園就園児童の保護者数（園児数）	人	1,596	1,643	1,671	1,571
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	153,234	153,977	162,971	185,816
活動指標2	申請審査数	件	1,529	1,538	1,557	1,540
成果指標1	減免園児数	人	1,512	1,507	1,500	1,485
成果指標2	就園率	%	60.8	63.5	63	63.5
事業費(A)		千円	153,234	153,977	162,970	185,816
正職員人件費(B)		千円	3,612	3,607	3,125	3,130
総事業費(A+B)		千円	156,846	157,584	166,095	188,946

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免した幼稚園に、補助金を支出。	補助金合計162,971千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
保護者負担の軽減を図るため、国は毎年、補助額を拡充している。平成23年度から東日本大震災で被災を受けた園児に対する補助事業が開始となった。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
子どもたちの健全育成、教育環境の充実は、自治体に課せられた使命であり、幼児教育の振興に資する事業として妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
幼稚園は幼児教育において重要な役割を担っており、就園に必要な保育料の一部、又は全部を補助することは、早期就園など就園しやすい環境をつくることとなり、ひいては幼児教育の振興につながる。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
幼稚園就園時の保護者負担を軽減することは、幼児教育の充実、振興につながっている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
国が示した基準に従い実施しているため、補助額の減額は難しく、また、これ以上の審査事務の効率化は難しい。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
国が示した基準に従い実施しているため、補助額の減額は難しく、また、これ以上の審査事務の効率化は難しい。	